

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		050210 市民フェスティバル開催支援事業		担当部課	部課コード	050200	2998-9083												
事業コード		050210		地域づくり推進課															
開始年度		昭和55 年度		終了年度	年度														
事業の種類		自治事務		法定受託事務	法定受託 + 附加		根拠法令												
分野別計画・指針																			
関連・類似事業		所沢市民文化フェア開催支援事業(文化芸術振興課)																	
総合計画の体系		章	コミュニティ	節	市民活動	基本方針	市民活動の支援												
事業開始の背景		市制施行30周年を記念して、市主催で第1回を開催したが、第2回からは、市民手づくりの祭典として市民からなる実行委員会を組織し、企画から運営までを手掛けるものとなった。																	
<p>目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)</p> <p>市が市民フェスティバル実行委員会の事務局となり、フェスティバルの開催を支援することにより、事業の円滑な推進を図るとともに、フェスティバルの開催を通じて来場者にコミュニケーションの場を提供し絆を深め、心のふれあいのある地域社会を創造する。</p> <p>対象(誰を、何を対象としているのか)</p> <table border="1"> <tr> <td>市民</td> <td>対象数</td> <td>単位</td> <td>平成 26 年度</td> <td>343,067</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平成 27 年度</td> <td>343,321</td> <td>人</td> </tr> </table> <p>事業の具体的な内容及び実施方法</p> <p>実行委員会を組織して事業を実施する。 実行委員は、関係団体からの推薦、有識者及び市民からの公募により構成する。 実行委員会は、市民から募集した企画案を、選考するとともに、実行委員会が運営するメイン企画の参加者を公募する。 実行委員会は、採用された企画・運営に対して補助金を交付するとともに、管理・運営に携わる。 実行委員会は、会場設営業者、警備業者及び清掃業者を入札により決定し、業務の委託を行う。 市は、実行委員会の事務局として、一連の事業を支援し、実行委員会に対し、補助金を交付する。 フェスティバルを開催する。</p>								市民	対象数	単位	平成 26 年度	343,067	人				平成 27 年度	343,321	人
市民	対象数	単位	平成 26 年度	343,067	人														
			平成 27 年度	343,321	人														
経費		会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)													
		予算現額		8,000	7,500	7,500													
		決算 (見込み含む)		8,736	8,237														
		(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(0.00 人)	(0.45 人)	(0.00 人)	(0.50 人)	「財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。												
		正規職員人件費	0.97 人	8,459	1.73 人	14,982													
		事業費合計		17,195	23,219														
		財源内訳	一般財源	17,195	23,219	7,500													
			国・県支出金																
			その他()																
実績		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標											
		実行委員数	運営をする実行委員の数 事務局の事務工数に影響	人	30	25	27	35											
		参加団体	参加団体数 フェスティバルの成果に影響	団体	353	439	420	450											
成果		項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標											
		成果指標	来場者数	万人	目標値	30	30	30											
			開催2日間に来場した延べ人数 フェスティバルが広く市民に愛されているかを表す指標		実績	30	23	30											
		目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	100	77	どちらかを チェックしてください											
改善点		(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析														
		フリーマーケットの企画をNPO法人フリーマーケットネットワーク「リサイクルマン」に完全委託化した結果、事務局の工数削減及び参加団体増加を達成した。			野外イベントであるため、来場者数は天候に左右される側面がある。また、近隣イベントの日程等、様々な要因が考えられる。														
評価		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可)	理由	今回の開催で36回を数え、来場者も多く市民参加の行事として定着しているが、今後とも改善効率化を図りながら、支援していきたい。														
		方向性の	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	参加者の安全を担保し開催するには、最低限必要な経費であるため。														
価		(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性														
		野外ステージを音響なども含めて企画者に委託することで、設営経費の削減を行っている。また、来場者数の改善を目指し、WEB上での広報を強化している。			実行委員会独自で運営できる体制を目指し、事務局の業務工数を削減する。														
		評価日	H28.7.21	評価者職氏名	地域づくり推進課長 千葉 裕之														
環境影響		有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動		規制を受ける環境法令等		緊急事態											